

## 広島平和学習中学生派遣事業について

区は“原水爆禁止署名運動”発祥の地として、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願って昭和63年に「杉並区平和都市宣言」を行うとともに、この間、区民への啓発事業等を継続的に実施するなど、区民の平和に対する認識を深めてきました。

こうした中、本年8月に「第10回平和首長会議総会」（以下「総会」という。）が広島市で開催されます。「平和首長会議」は、現在、世界163か国・地域約7,800都市が加盟する世界恒久平和の実現と核兵器廃絶の国際世論の醸成・拡大を目指す会議で、総会では、令和3年以降の次期ビジョン及び行動計画が策定される予定です。総会の開催は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中ですが、オリンピックがスポーツを通じた人間育成と世界平和を目的とする平和の祭典であることを踏まえ、以下のとおり事業を実施すべく検討してまいります。

### 1 事業の概要

総会の開催期間に合わせて、区内の中学生を総会開催都市の広島市に派遣し、広島平和記念式典への出席のほか、平和記念資料館見学など被爆の実相に触れ、平和について学び、その大切さを伝えていく。

### 2 派遣期間

令和2年8月を予定

### 3 派遣対象者

区内在住の中学校2年生を主な対象とする。なお、選考方法については別途検討する。

### 4 派遣人数

区内在住中学生30名程度

### 5 その他

- ・派遣中学生には、区民生活部管理課職員及び教職員等が引率する。
- ・本事業の実施に当たっては、次世代育成基金を活用する。